

みとしんレポート

MITOSHIN DISCLOSURE 2014.9

平成26年4月1日～平成26年9月30日



このまちの夢がきこえる

水戸信用金庫





地域社会の持続的な発展のために

当金庫は、地域とともに生きる金融機関として、地域貢献、教育支援、スポーツ振興等を通じて地域社会の発展と活性化に積極的に取り組んでいます。

「信用金庫の日」の県内信用金庫統一事業として清掃を実施

毎年6月15日の「信用金庫の日」にあわせて、募金や献血、ボランティア活動などを行っております。平成26年度は、茨城県内73カ所の老人福祉施設で清掃や草刈りなどのボランティア活動を行いました。



地域行事への参加

地域のお祭り等（水戸黄門まつり、土浦キララまつり、うしくっぴ祭り、ひたちなか祭り等）に積極的に参加することにより、地域の皆さまとの交流を深めています。



「ジュニアエコノミーカレッジinみと」の開催

「ジュニアエコノミーカレッジinみと」を水戸商工会議所青年部とともに開催しました。地元小学生を対象に、模擬会社の運営を通して社会および金融の仕組みを学ぶ場を提供しました。



公益信託水戸信用金庫エール奨学基金の運営

経済的理由により大学進学が困難な茨城県内の学生の支援を目的として、平成17年4月より返還義務の無い奨学金制度を運営しています。



茨城大学・常磐大学における提供講座の実施

平成16年度より茨城大学、平成17年度より常磐大学で、地域社会を担う人材の育成を目的に当金庫役職員が講師を務め、地域金融に関する講座を実施しております。



このまちの夢がきこえる

水戸信用金庫

〒310-0803 茨城県水戸市城南2-2-21
TEL.029-222-3311
<http://www.mitoshin.co.jp/>



個人のお客さまの豊かな生活のために

当金庫は、個人のお客さまのライフステージによって異なる様々なニーズにお応えするために、商品・サービス、体制の拡充等に努めています。

マネーアドバイザーによる資産運用相談

マネーアドバイザーは、お客さまからの資産運用のご相談に応じる専任者です。女性ならではのきめ細やかさを活かして、年金保険、投資信託、国債といった運用商品の中からお客さまのニーズに合った提案を行っております。

平成26年4月に4名の増員を行い、8名のマネーアドバイザーがご相談にお応えしております。



退職金定期預金・年金定期預金の取り扱い

当金庫に退職金を預入するお客さま、当金庫で年金を受給している（または受給を開始する）お客さまを対象に、期間限定で、金利を上乗せした特別な定期預金を取り扱っております。



個人年金保険「みらい応援歌」の販売開始

ゆとりあるセカンドライフやお子さまの将来のために、少額の保険料から加入できる積立式個人年金保険「みらい応援歌」の販売を、平成26年4月から開始いたしました。



みとしん資産活用研究会の運営

土地の有効活用や相続税対策等について、様々な角度から研究することを目的とした約150名の会員組織です。公益財団法人市民防災研究所細川顕司氏による講演会等を実施いたしました。



各種相談

年金相談会の開催

年金に対する関心の高さにお応えするため、社会保険労務士による年金相談会を各営業店にて開催しておりますのでご利用ください。(予約制)

税務相談会の開催

税理士による税務相談会を行っております。4月から12月(8月は除く)に原則として週1回、税理士が各営業店を訪問して、相続税・贈与税・所得税など税に関する事項なら何でもご相談いただけますので、ご利用ください。(予約制)

法律相談会の開催

弁護士による法律相談会を行っております。原則として月1回(8月は除く)、本店にて法律全般のご相談を受け付けておりますので、ご利用ください。(予約制)

各種相談会
無料にて実施中



法人のお客さまの課題解決のために

当金庫は、法人のお客さまの資金ニーズに応えるとともに、お客さまの抱えている様々な経営課題の解決を全力でサポートしております。

起業・創業に関する支援

将来独立を目指している方を対象に、茨城県中小企業診断士協会と連携して起業・創業スクールを開催するとともに、専門学校においても起業・創業講座を実施しております。



日本政策金融公庫との「業務連携・協力に関する覚書」の締結

平成26年9月、融資や経営支援に係る連携、地域経済の活性化と中小企業等の金融の円滑化を図ることを目的として、日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結いたしました。



「みとしん未来塾」の開講

平成26年7月、中小企業の若手経営者を対象として、「みとしん未来塾」を開講いたしました。

「みとしん未来塾」では「地域経済を支える経営者としての知識・見識を身につけること」「自ら考え、実践できる力を身につけること」「切磋琢磨できる同志を発見すること」をテーマとして、年間5回の講座を開講し、若手経営者の育成を図っております。



みとしん経営研究会の運営

経営者の皆さまの事業発展を目的とした約400名の会員組織です。経営に関する研究や優良企業の視察等を実施しております。株式会社タニタ前代表取締役社長長谷田大輔氏による講演会等を実施いたしました。



みとしん青年重役会の運営

次世代の経営者を対象とした約300名の会員組織です。新たな経営環境に適応できる経営者の育成と総合的な資産運用、管理を体得できるような研修の実施を目的としております。東進ハイスクール東進衛星予備校現代文講師林修氏による講演会等を実施いたしました。

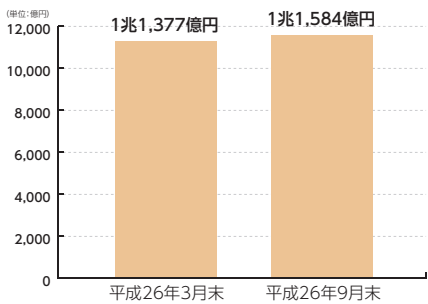


平成26年度上半期 業績のご報告

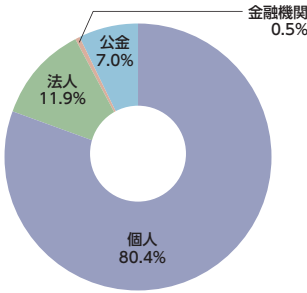
預金の状況

預金残高は平成26年3月末比207億円増加し、平成26年9月末残高は1兆1,584億円となりました。

■ 預金残高



預金の内訳については、個人のお客さまが80.4%、法人のお客さまが11.9%を占め、地域の皆さまから高い信頼をいただいております。



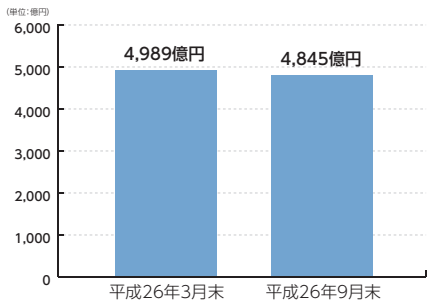
(単位: 億円)

	平成26年9月末
個人	9,323
法人	1,380
金融機関	58
公金	820
預金残高合計	11,584

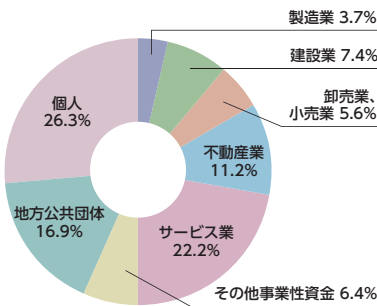
貸出金の状況

貸出金残高は平成26年3月末比144億円減少し、平成26年9月末残高は4,845億円となりました。

■ 貸出金残高



貸出金については、特定の業種に偏ることなく、様々なお客さまにご利用いただいております。



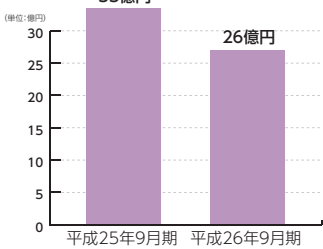
(単位: 億円)

	平成26年9月末
製造業	179
建設業	359
卸売業、小売業	274
不動産業	546
サービス業	1,076
その他事業性資金	310
地方公共団体	822
個人	1,276
貸出金残高合計	4,845

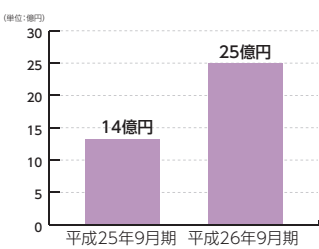
収益の状況

業務純益26億円、経常利益25億円、当期純利益23億円となりました。

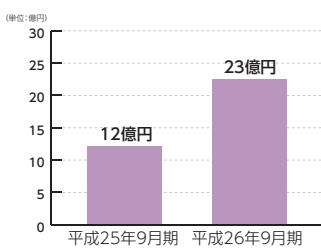
■ 業務純益



■ 経常利益



■ 当期純利益

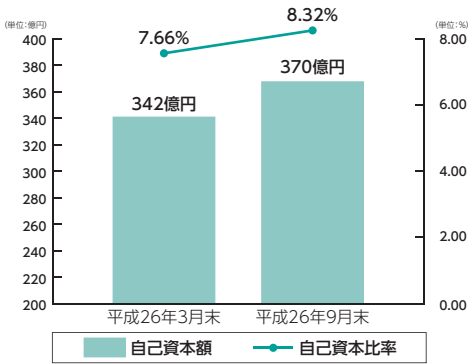


自己資本比率の状況

自己資本比率は8.32%、自己資本額は370億円となりました。

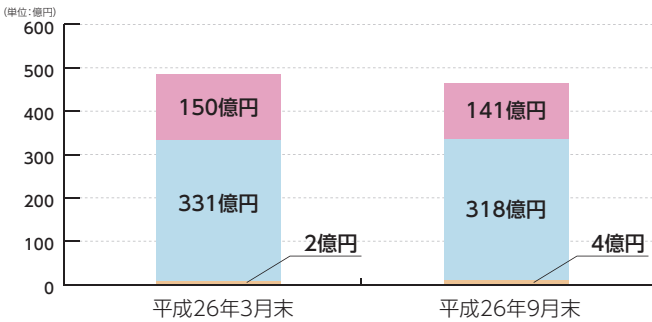
(単位: 億円、%)

	平成26年3月末	平成26年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	342	370
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	—	—
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	342	370
リスク・アセット等(ニ)	4,472	4,444
自己資本比率=(ハ)/(ニ)×100	7.66	8.32



不良債権の状況(金融再生法ベースの債権区分による開示)

金融再生法に基づく不良債権残高は464億円、不良債権比率は9.48%となりました。



	平成26年3月末	平成26年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	150	141
危険債権	331	318
要管理債権	2	4
不良債権合計	484	464
正常債権	4,556	4,429
合 計	5,041	4,893
不良債権比率	9.61	9.48

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
危険債権
要管理債権

■用語説明

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権……破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権……債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権
- 要管理債権……3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権
- 正常債権……債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権(破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権を除く)

有価証券の状況

地域の皆さまからお預かりした資金(ご預金)については、貸出金による運用の他に有価証券による運用も行っております。

満期保有目的の有価証券

		平成26年3月末			平成26年9月末		
	種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	995	1,003	8	995	1,016	21
	地方債	74,969	76,710	1,740	84,434	87,342	2,907
	社債	43,843	44,508	664	43,792	44,481	689
	外国証券	28,196	28,865	669	27,696	28,302	605
	小 計	148,005	151,087	3,082	156,918	161,142	4,224
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	11,078	11,035	△ 42	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	外国証券	2,997	2,901	△ 96	1,997	1,970	△ 27
	小 計	14,075	13,936	△ 139	1,997	1,970	△ 27
合 計		162,081	165,024	2,942	158,916	163,113	4,197

注) 1.時価は、基準日における市場価格等に基づいております。 2.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

その他有価証券

		平成26年3月末			平成26年9月末		
	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,575	1,104	470	584	356	228
	債券	218,276	213,046	5,230	199,742	193,942	5,800
	その他	37,375	36,389	985	65,740	63,659	2,081
	小 計	257,227	250,541	6,686	266,067	257,957	8,109
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	87	100	△ 13	—	—	—
	債券	10,438	10,701	△ 262	26,061	26,159	△ 97
	その他	20,011	20,339	△ 328	11,861	11,919	△ 57
	小 計	30,537	31,141	△ 604	37,923	38,078	△ 155
合 計		287,764	281,682	6,081	303,990	296,036	7,953

注) 1.貸借対照表計上額は、基準日における市場価格等に基づいております。 2.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しております。
※計数は、任意に開示するものであり、会計監査人の監査は受けておりません。